

日時・場所	平成29年6月26日（月） 8時45分～ 庁議室
出席者	山仲市長、西村教育長、大藤議会事務局長、寺田政策調整部長、上田総務部長、田中市民部長、瀬川健康福祉部長、辻村健康福祉部政策監、小山都市建設部長、遠藤環境経済部長、竹中教育部長、川端会計管理者、北脇広報秘書課長、事務局（企画調整課）

1. 市長指示事項

- ・ 学童保育の土曜日実施に関して、条例に基づく野洲市こどもの家持続ある運営を考える委員会において、市民代表、保護者代表、専門家に公開で検討をしていただき、その結果について答申を受けた。その内容は、保護者のニーズにきちんと応える形で、限定的ではあるが、来年度から学童保育を土曜日にも延長し、料金は従前のルールを前提に可能な限り負担感が大きくならない形で行うというものである。本市の場合、対象児童を小学6年生までとしているが、要望を受けて更に土曜日の受け入れまで展開していこうという見通しが立った。小さなことではあるが、きめ細かなサービスを行っていく事例として共通認識をしておくこと。
- ・ 昨日、滋賀県ろうあ者大会が市内で開催された。市内にはびわこ学園が立地しており、特に身体障がい者、知的・精神障がい者への支援は手厚く実施している。本市ではろうあ者に対する支援については手を抜いているわけではなく、手話通訳者を2名雇用している。ただ、どうしても全体の障がい者支援施策の中ではなかなか焦点が当たりにくく、コミュニケーション、安全確保、生き方等の意思決定等に関して課題がある。今回、ろうあ者大会が野洲市で開催されたことを機に、課題解決に向けて全庁的に取り組んでいくこと。
- ・ 先週、市議会の野洲市民病院整備事業特別委員会が開催されたが、議論が錯綜していた。気になったのは、5月17日の市議会臨時会において、農薬工場跡地に市民病院を整備してはどうかという意見が出たが、今度は、駅前に市民病院を整備するのであれば交通の便がよいので、駐車場はいらないのではないかという意見が出てきたことである。この雰囲気はかなり異常であり、異常さを認識して共通理解をしておかないと歪んでくる。議会の正式の特別委員会で当たり前の雰囲気になっており、冗談を越えたものとなっているのに誰も制止をしない。このような雰囲気は庁内にも及びかねないので気をつけること。

2. 報告事項

① 野洲駅北口駅前広場シェルター整備工事に伴う規制について

〔所管： 都市建設部〕

北口駅前広場整備事業については、歩道橋整備工事に引き続き、シェルター整備工事を進めている。この工事に伴い、バス・タクシー乗場を変更するほか、歩道及び階段等の交通規制により利用者の方には迂回をしていただくこととなる。工事期間は平成29年6月～平成30年1月末を予定している。

→工事を機に、喫煙スペースのあり方について検討すること。

→広報紙による周知を行うこと。

→これまでの地元自治会や関係機関等への説明等の経緯を示すこと。

② 全員協議会への提出事項について

〔所管： 総務部〕

報告事項8件、会議結果報告事項1件、連絡事項8件を6月度全員協議会に報告する。

3. 協議事項

なし

4. その他伝達事項

- ・ 25日に、京セラ(株)滋賀野洲工場において火災が発生した。初期消火で鎮火し、大事には至らなかった。同社では本年2月にも火災が発生しており、消防署による指導等を依頼している。

5. 次回部長会議の予定

7月3日（月） 8時45分～ 庁議室